

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-1-1	事業名	公立文化施設活性化推進事業(芸術の森ART BOX)				
担当	観光文化局文化市民文化課 筒井 電話211-2261						
全体計画							
事業内容	芸術の森野外ステージ活性化推進事業として、野外ステージの客席部分に仮設スタンド(600席程度)を設置し、9月～10月の毎週末及び祝日に、「アートの手箱」をコンセプトとして自主制作公演(インプログラム)及び公募公演(オフプログラム)を16日間程度実施する。 また、仮設スタンドの背面及び芝生席部分を利用し、展覧会やインスタレーション事業などのプログラムを実施する。		<年度別の事業内容>				
			平成19年度 インプログラム 6事業、オフプログラム 4事業 平成20年度 平成19年度と同程度を予定 平成20年度で終了予定				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(予算)				
	芸術の森野外ステージ活性化推進事業として、野外ステージの客席部分に仮設スタンド(500席程度)を設置し、9月1日～30日までの毎週末及び祝日に、自主制作公演(インプログラム)を6事業(7公演)、公募公演(オフプログラム)を4事業実施した。		平成19年度と同程度を予定。				
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
週末の施設利用率		57.4%	52.1%	50.0%	未定	未定	60.0%
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 野外ステージの使用料を免除する条件で参加する団体を募集しており、市民参加の機会が確保されている。企画運営についても芸術の森が適宜アドバイスを行うとともに、協力しながら実施することで、マネジメント能力の育成の場ともなっている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 企業からの資金協力を得ることで、事業内容の充実や、入場料及び参加団体の制作費の軽減を図っている。 [人材協力] 主催事業の制作に関係団体の協力を得て、充実したプログラムになるよう心がけているほか、出演者に協力を得て無料のステージを実現している。</p> <p>[情報協力] [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 芸術の森ホームページ、広報誌や募集パンフレット、チラシ、観光文化情報ステーションにおいて情報を提供している。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-1-1		事業名	公立文化施設活性化推進事業(芸術の森ART BOX)		
評価(成果)				課題		
<p>野外ステージ活用に係る新たな提案を行うことで、全国の先進事例となっており、活性化に寄与している。 市民参加の機会が確保され、文化芸術活動団体の発表の場を提供している。 野外ステージの利用について宣伝効果を得られている。</p>				<p>20周年を契機としてスタートしたこれらの取り組みを、継続的に実施する仕組みの構築すること。 事業の根本的な目的である野外ステージの稼働率をアップさせるため、当該事業終了後における取組みについて再検討する必要がある。</p>		
今後の事業の予定・方向						
当初計画である平成20年度までを一区切りとし、3か年の取組みの成果やニーズを検証のうえ、平成21年度以降の事業展開について検討を行う。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	10,000	10,000	0	0	20,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
予算	事業費	10,000	10,000	-	-	20,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
	その他	0	0			0
実績	事業費	10,000	-	-	-	10,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
	その他	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				100.0%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						